

集団がん検診のお知らせ

保健センター ☎(93) 8300

集団がん検診は、あらかじめ決まった日に保健センターで行うがん検診です。希望される方は、保健センター窓口、または電話でお申し込みください。
※扶桑町国民健康保険に加入している方は、一部負担金をお支払いの際に国民健康保険被保険者証を提示されると、無料で受診できます。

実施日	胃がん 800円 40歳以上の方	大腸がん 400円 40歳以上の方	前立腺がん 400円 50歳以上の方	子宮頸がん 700円 *20歳以上の方	乳がん 600円 *40歳以上の方	受付開始日
5月28日(木)	A◎	◎	◎	◎	◎	4月10日(金)↘
6月16日(火)	B◎	◎	◎	◎	◎	
7月16日(木)	A◎	◎	◎	◎	◎	

Aは男性優先、Bは女性優先で行います。

*乳がん検診・子宮頸がん検診については2年に1回の受診となります。
令和2年度は偶数年(和暦)生まれの方が対象となります。
(ただし、奇数年生まれの方で令和元年度未受診の方は受診できます。)

各種健康診断のお知らせ

保健センター ☎(93) 8300

保健センターでは、左記のとおり検診を実施します。ご自身の健康チェック

事業名	対象者	日時	定員	一部負担金	受付開始日
胸部レントゲン (結核・肺がん検診)	40歳以上の方	6月25日(木) 午前9時～12時	700名 (先着順)	200円	4月10日(金)↘
		6月26日(金) 午前9時～12時 午後1時～4時			
		6月27日(土) 午後1時～4時			
さわやか健診 (血液検査・身体計測等)	受診機会のない 20～39歳の方	6月27日(土) 午前9時～11時	100名 (先着順)	1,000円	4月10日(金)↘
骨検診	20歳以上の方	6月26日(金) 午後1時～4時	200名 (先着順)	400円	
		6月27日(土) 午後1時～4時			

年長児のお子さんをもつ保護者の方へ

保健センター ☎(93) 8300



1歳をすぎたころに麻しん風しん予防接種を行います。2回目の接種は、小学校就学前1年間(いわゆる年長児)に実施しています。

麻しん(はしか)は、感染力が強く、命に関わる合併症を引き起こす病気です。また、風しんも同じく、重症化する場合があります。お子さんの健康をまもるために、ぜひ接種を受けましょう。

▼対象者 小学校就学前の年長児

▼実施期間 4月1日(水)から

令和3年3月31日(水)まで
※予防接種予診票は、「ひまわり」(予防接種予診票綴)に綴じ込みしてあります。紛失等で予診票がない方は、母子健康手帳と印鑑を持って保健センターで交付の手続きをお願いします。

小学校4年生、6年生のお子さんをもつ保護者の方へ

保健センター ☎(93) 8300

乳幼児期に第1期として予防接種を行ったものの中で、第2期の接種対象となっているものがあります。これらの予防接種は第1期から接種を重ねて免疫力を高めるものです。それぞれ対象となる予防接種の予診票を順にお送りしますので、ご自宅に届きましたらぜひ接種を受けましょう。

▼予防接種の種類

- ・小学校4年生 日本脳炎第2期
- ・小学校6年生 二種(ジフテリア、破傷風)混合

▼発送時期 4月中旬～下旬

成人男性を対象とした風しんの追加的対策(風しんの追加的対策)について

保健センター ☎(93) 8300

風しんの予防接種は、現在予防接種法に基づき公的に行われています。しかし公的な予防接種を受ける機会がなかった40歳代から50歳代の男性は、他の年代に比べると風しんの抗体を持つ人の割合が少ないため、令和4年3月までの期間に限り定期予防接種を実施しています。しかし、この年代の人中でも約8割の人は抗体をもっているため、まず抗体検査を実施し、抗体が少ない人のみ予防接種を実施します。

風しんは成人が感染すると症状が重くなったり、妊娠初期の妊婦が感染した場合に胎児が風しんウイルスに感染して、「先天性風しん症候群」の赤ちゃんが生まれる確率が高くなります。風しんの感染防止や先天性風しん症候群の予防のために、緊急に対策が必要です。対象の方はぜひお受けください。

- ▼対象者 扶桑町に住民登録のある、昭和37年4月2日生まれから昭和54年4月1日生まれまでの男性
- ①昭和47年4月2日生まれから昭和54年4月1日生まれまでの男性で令和2年1月までに抗体検査及び予防接種を実施していない人
- ②昭和37年4月2日生まれから昭和47年4月1日生まれまでの男性

※対象者には無料で受けられるクーポン券を発行します。
▼クーポン券発送時期 4月末～5月上旬

※①の対象者の中で事務処理の都合上、2～4月に実施済の方にお送りする場合がありますのでご了承ください。

また、対象者の中で、家族に妊娠を希望する女性がいる方など早期に実施したい方は保健センターまでご連絡ください。

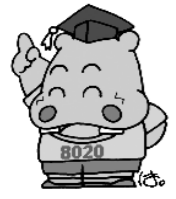
▼抗体検査・予防接種の流れ

- ① 扶桑町から無料クーポン券を受け取る。
- ② 抗体検査実施医療機関で抗体検査を実施する。健診の機会を利用して実施することが可能な場合もあります。※受けられる際は、ご希望の医療機関やお勤め先にお問い合わせの上、実施してください。
- ③ 抗体検査の結果を聞き、抗体が少ない場合は定期予防接種の対象となります。
- ④ 予防接種実施医療機関に予約をし、予防接種を受ける。

- ▼抗体検査・予防接種の際に必要なもの
- ① 扶桑町発行のクーポン券
- ② 本人確認資料
- ③ 運転免許証、マイナンバーカード(個人番号カード)等
- ④ 抗体検査で「予防接種が必要」と判断された結果表(予防接種を受けるときのみ)

はちまるくん日より「強い歯と再石灰化」

大山扶桑歯科医師会



強い歯と弱い歯。だれにとっても、強い歯がいに越したことはありません。強い歯は、ムシ菌に負けない、何でも食べられる。

▼実施医療機関 「風しんの追加的対策」に協力している医療機関であれば、全国どこでも受けることが可能です。左記厚生労働省のホームページに可能な医療機関の一覧が掲載されていますのでご確認ください。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

※町ホームページからも確認できます。
▼実施期間 平成31年4月～令和4年3月

※ただし、クーポン券の有効期限があります。期限が切れた場合は保健センターまでご連絡ください。

▼費用 無料 (クーポン券持参に限ります)

▼注意事項 扶桑町が発行したクーポン券は、ご利用の際に扶桑町から転出されていると使用できません。その際は転出先で再度発行してもらってください。

おいしく食事ができることはそれだけで、生活を豊かにしてくれます。そればかりか、スポーツや力仕事で歯を食いちばることができると、強い歯があつてのことです。

ではどうしたら強い歯を作れるのでしょうか？基本となるのは毎日の歯みがきです。毎日のブラッシングでムシ菌の原因となるプラークを除去します。歯は身体の中でも最も硬い組織で、たんばく質、カルシウム、リンなどのミネラル成分でできています。そんなに硬い歯でもひとたび酸の攻撃に会うとミネラルが溶け出してしまいます。このことを「脱灰」と言い、やがて歯が溶かされてムシ菌へと進行していきます。ところが私たちの唾液の中にはカルシウムやリンが含まれており、溶け出したミネラルを補う働きがあります。これを「再石灰化」といい歯を健康な状態に戻します。

「脱灰」と「再石灰化」これが私たちの口の中で繰り返されているわけです。歯の石灰化を促進させるものにフッ素があります。保健センターや歯科医院でのフッ化物塗布やフッ素の水溶液でのうがいや推奨されているのは、フッ素の歯の再石灰化を促進させる作用を期待しているからなのです。また家庭での歯磨き剤には、ぜひフッ素配合のものを使って予防にとめましょう。それが「強い歯」への第一歩だと思えます。